

dal muto agli anni 80

上映プログラム (第2期)

1回目 平日15:00~/土・日・祝13:00~		2回目 平日18:30~/土・日・祝16:00~	
1月 8日 火	16 にかい米 (*13:00から上映)	1	されどわが愛は死なず
9日 水	23 ベリッシマ (*13:00から上映)	5-b	大女優チカラ・フォルミカ
		5-a	妻たちとオレンジ
10日 木	2 カピリア (*13:00から上映)	4	王家の虎
11日 金	3-b/a 灰/アッスンタ・スピーナ (*13:00から上映)	6	聖なる夜に
12日 土	1 されどわが愛は死なず	2	カピリア
13日 日	4 王家の虎	3-b/a	灰/アッスンタ・スピーナ
15日 火	31 情事 (*13:00から上映)	4	王家の虎
16日 水	32 血ぬられた墓標 (*13:00から上映)	6	聖なる夜に
17日 木	33 イタリア万歳 (*13:00から上映)	5-b	大女優チカラ・フォルミカ
		5-a	妻たちとオレンジ
18日 金	34 ヘラクレスの復讐 (*13:00から上映)	1	されどわが愛は死なず
19日 土	2 カピリア	3-b/a	灰/アッスンタ・スピーナ
20日 日	5-b 大女優チカラ・フォルミカ	6	聖なる夜に
	5-a 妻たちとオレンジ		
22日 火	35 シシリーの黒い霧	36	虎にまたがって
23日 水	38 オルゴソロの盗賊	39	追い越し野郎
24日 木	41 婚約者たち	42	猿女
25日 金	43 革命前夜	44	ポケットの中の握り拳
26日 土	45 彼女のことはよく知っていた	46	続・夕陽のガンマン
27日 日	47 危険分子たち	48	男と5つの風船
29日 火	49 トルコ人たちのマドンナ	50	労働者階級は天国に入る
30日 水	51 醜く、汚く、意地悪く	52	ローザのチャンス
31日 木	53 ユダの接吻	31	情事
2月 1日 金	35 シシリーの黒い霧	32	血ぬられた墓標
2日 土	34 ヘラクレスの復讐	36	虎にまたがって
3日 日	38 オルゴソロの盗賊	41	婚約者たち
5日 火	39 追い越し野郎	33	イタリア万歳
6日 水	42 猿女	43	革命前夜
7日 木	44 ポケットの中の握り拳	45	彼女のことはよく知っていた
8日 金	46 続・夕陽のガンマン (*14:00から上映)	47	危険分子たち
9日 土	52 ローザのチャンス	49	トルコ人たちのマドンナ
10日 日	50 労働者階級は天国に入る	51	醜く、汚く、意地悪く
12日 火	48 男と5つの風船	53	ユダの接吻
13日 水	34 ヘラクレスの復讐	35	シシリーの黒い霧
14日 木	36 虎にまたがって	38	オルゴソロの盗賊
15日 金	39 追い越し野郎	41	婚約者たち
16日 土	31 情事	43	革命前夜
17日 日	42 猿女	32	血ぬられた墓標
19日 火	45 彼女のことはよく知っていた	51	醜く、汚く、意地悪く
20日 水	47 危険分子たち	49	トルコ人たちのマドンナ
21日 木	50 労働者階級は天国に入る	48	男と5つの風船
22日 金	52 ローザのチャンス	46	続・夕陽のガンマン
23日 土	44 ポケットの中の握り拳	53	ユダの接吻
24日 日	☆講演会-2	33	イタリア万歳

チケット購入方法

●各回定員(310席)、入替制、自由席です。開場は上映45分前、開映後の入場はできません。

●日時指定の前売券は11月14日~12月27日分(第1期)と1月8日~2月24日分(第2期)の2回に分けて発売します。

●前売11回券の場合
第1期の11回券は、10月13日(土)から、第2期の11回券は、12月15日(土)からチケットぴあ(オペレーター電話予約☎03-5237-9999、Pコード電話予約☎03-5237-9988)で上映の2日前まで発売します。電話がつかない場合、チケットぴあSPOT及びファミリーマート(Pコードが必要)で直接購入することをお勧めします。ファミリーマートの発売開始は1日遅れることがあります。*Pコードは 500-610

●前売5作品・10作品購入券の場合
前売5作品購入、及び10作品購入は、異なる5作品または10作品分のチケットを格安で事前に一括購入するもので、郵送での販売となります。第1期分は、住所(チケット送付先が異なる場合は送付先も)、氏名、電話番号、ご希望の作品名と上映日時を明記の上、9月20日(木)以降、9月25日(火)までに(消印有効)、往復はがき(〒104-8011朝日新聞社文化企画局映画係宛)またはFAX(03-3548-1894)にてお申し込みください。こちらより確認の返事が届きましたら、10月4日(木)までに指定の銀行口座に料金をお振り込みください。振込手数料はお客様のご負担となります。入金を確認後、チケットをお送りします(送料は主催者負担)。第2期分も同様に11月21日(水)以降、11月26日(月)までの消印有効の申し込み、12月8日(木)までの入金となります。5作品購入、10作品購入の申し込みは、各回200席までとします。200席を越す回があった場合は、抽選とします。

	第1期	第2期
申込み期間	9月20日~25日	11月21日~28日
	確認書到着後	確認書到着後
銀行振込み	10月4日締切り	12月8日締切り
	入金確認後	入金確認後
チケット発送	10月下旬	12月下旬

●前売券の払い戻し、変更はいたしません。ただし、同じ作品に限り、指定上映日の前日までに会場受付にて手続きをいただければ、ご希望の日に当日券と同じ列に並んで入場できます。満席の場合は入場できません。

●当日券は、上映45分前から発売します。ただし前売券が売り切れた場合は、当日券はございません。前売券の販売状況は、インターネットでもご覧いただけます。
http://www.asahi.com/event/italia/cineteca

●一人で異なる20作品を見た方には、イタリア製のオーディオ・ヘッドパインシャツをプレゼント、会場にてチケットを提示ください。

無声時代から今日まで、わが国で途切れることなく人気を保ってきた世界の"三大映画国"といえば、アメリカ、フランス、そしてイタリアということになるでしょう。

そのイタリア映画は、スベクタクル史劇、艶笑喜劇などからマカロニ・ウエスタンにまで及びきわめて多彩なジャンルの広がりを持ち、ソフィア・ローレンやマルチェロ・マストロヤンニに代表される国際スターを生みだしながら時代ごとに華やかな魅力をふりまいてきましたが、同時に、数多くの個人的な映画作家を輩出することによって、高い芸術的評価を築き上げて現在に至っています——ロッセリーニ、デ・シーカ、フェリーニ、アントニオーニ、ヴィスコンティといった偉大なシネアストの名は、「イタリアン・ネオリズム」に始まったとも言える戦後の世界映画史に巨大な足跡をとどめています。

そうした巨匠たちの作品に、製作当時、日本には輸入されることなかった隠れた傑作や問題作を多く加えた全55作品(53番組)を、3ヵ月にわたって連続上映する本特集は、現存する最良の35mmフィルムによってイタリア映画史の全体像を体験することのできる空前絶後の機会となるでしょう。

ロッセリーニが仕事をしているのを見ていくうちに、生まれて初めて、しかも唐突に、私ははっきり理解したのだ。作家が文章を書くように、画家が絵を描くように、ごく個人的で直接的なやり方で、映画も作れるものだ。と。 フェデリコ・フェリーニ

純粋な視覚の優位を説いたネオ・リアリズムは、絵画において視覚だけで空間を征服した印象派と同じくらい重要だろう。 ジル・ドゥルーズ

イタリア映画くらいサイレントの昔からロマンを語って心にしみこませる国も珍しい。 淀川長治

「ネオ・リアリズム」の作家たちは、イタリア人だけが持つ孤獨な精神、厳格な現実直視の目、深いヒューマンな思想で、戦中戦後のイタリアの社会と人間とを描き抜いていった。 増村保造

偉大なるイタリア映画!

どうしてイタリア映画はかくも偉大になることができたのか、ロッセリーニからヴィスコンティ、アントニオーニからフェリーニに至る誰もが映像と音を同時に録っていないというのに、答えは一つだ。オウイディウスやウェルギリウス、ダンテやレオナルドの言葉が映像を通過したからだ。

ジャン=リュック・ゴダール

イタリアの都市は、古いものでも新しいものでも驚くほどフォトジェニックである。…その上に太陽と雲のないことをつけ加えれば、都会での野外撮影におけるイタリア映画の優位性が明らかになる。 アンドレ・バザン

戦後イタリア映画の、生き生きとした群衆描写が私は大好きだ。…「苦い米」で働いたり踊ったりする出稼ぎの農婦たち… 武田泰淳

Grande retrospettiva del cinema italiano: dal muto agli anni 80

日本におけるイタリア年 **イタリア映画大回顧**
2001年11月13日(火)~2002年2月24日(日)
東京国立近代美術館フィルムセンター
問い合わせ ☎03-3561-0825(フィルムセンター 9月4日(火)以降、11:00~18:30/月曜休)

フィルムセンター 〒104-0031 東京都中央区京橋3-7-6
営団地下鉄○銀座線「京橋駅」下車、出口1から昭和通り方向へ徒歩1分
都営地下鉄○浅草線「宝町駅」下車、出口A4から中央通り方向へ徒歩1分

日本におけるイタリア年 2001 ITALIA IN GIAPPONE

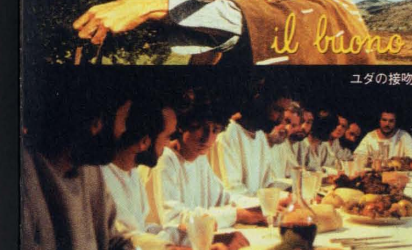


Grande retrospettiva del cinema italiano: dal muto agli anni 80
日本におけるイタリア年 **イタリア映画大回顧**

マルチェロ・マストロヤンニ、アンナ・マニャーニ、ソフィア・ローレン、シルヴァーナ・マンガノ、モニカ・ヴィッティ、クラウディア・カルディナーレ、ステファニア・サンドレリ...

映画大国イタリアの全貌
サイレントから80年代まで55本を上映

2001年11月13日(火)~2002年2月24日(日)
東京国立近代美術館フィルムセンター
主催:東京国立近代美術館フィルムセンター、朝日新聞社、チネテカ・ナチオナーレ 後援:イタリア大使館、イタリア文化会館、日本におけるイタリア年財団
助成:国際交流基金 協賛:イタリア・ラボロ銀行 協力:アテネ・フランセ文化センター <http://www.asahi.com/event/italia/cineteca>



Grande retrospettiva del cinema italiano:

懐かしの名作から日本未公開の忘れられた傑作まで55本でたどるイタリア映画史

上映プログラム (第1期)

1回目 平日15:00~/土・日・祝13:00~		2回目 平日18:30~/土・日・祝16:00~	
11月 13日 火	40 山猫 (*13:00から上映)		
14日 水	37 靴を持った女	15	トのイタリア自転車レース
15日 木	7 いつまでも君を愛す	8	ナボリのそよ風
16日 金	9 サルヴァトーレ・ローザの冒険	19	神の道化師、フランチェスコ
17日 土	★講演会-1	16	にかい米
18日 日	21 寄席の脚光	24	ウンベルトD
20日 火	10 かしこまりました	11	アルファ・タウ!
21日 水	12 マロンブラ	40	山猫
22日 木	14 神秘の騎士	17	沼の上の空
23日 金	20 ある愛の記録	30	わらの男
24日 土	13 慈悲なき世界	22	ミラノの奇蹟
25日 日	28 崖	23	ベリッシマ
27日 火	18 春が来た	25	高校三年
28日 水	26 こんなに悪い女とは	29	現代の英雄
29日 木	22 ミラノの奇蹟	27	白い天使
30日 金	24 ウンベルトD	37	靴を持った女
12月 1日 土	7 いつまでも君を愛す	10	かしこまりました
2日 日	9 サルヴァトーレ・ローザの冒険	8	ナボリのそよ風
4日 火	20 ある愛の記録	21	寄席の脚光
5日 水	13 慈悲なき世界	14	神秘の騎士
6日 木	11 アルファ・タウ!	12	マロンブラ
7日 金	15 トのイタリア自転車レース	26	こんなに悪い女とは
8日 土	27 白い天使	17	沼の上の空
9日 日	18 春が来た	19	神の道化師、フランチェスコ
11日 火	30 わらの男	7	いつまでも君を愛す
12日 水	25 高校三年	16	にかい米
13日 木	28 崖	9	サルヴァトーレ・ローザの冒険
14日 金	29 現代の英雄	10	かしこまりました
15日 土	11 アルファ・タウ!	14	神秘の騎士
16日 日	15 トのイタリア自転車レース	12	マロンブラ
18日 火	8 ナボリのそよ風	13	慈悲なき世界
19日 水	17 沼の上の空	18	春が来た
20日 木	19 神の道化師、フランチェスコ	20	ある愛の記録
21日 金	21 寄席の脚光	22	ミラノの奇蹟
22日 土	25 高校三年	26	こんなに悪い女とは
23日 日	40 山猫 (*12:00から上映)	37	靴を持った女
25日 火	23 ベリッシマ	24	ウンベルトD
26日 水	27 白い天使	28	崖
27日 木	29 現代の英雄	30	わらの男

★講演会-1は、チネテカ・ナチオナーレ所長アドリアーノ・アブラ氏を予定しています。入場は無料です。

●料金

	前売券			当日券
	1回券	5作品購入券	10作品購入券	1回券
一般	1,300円	5,500円	10,000円	1,500円
高校・大学生及び65歳以上	1,200円	4,500円	8,000円	1,400円
小学・中学生	800円	3,000円	5,000円	1,000円

高校・大学生及び65歳以上の方は、その証明となるものを必ずお持ち願います。

上映作品解説

3-b 「灰」 (1916年・サイレント・46分) Cenere 監督/フェボ・マリ 出演/エリオー・ラドローゼ、フェボ・マリ 当時の舞台女優として最も評価の高かったエリオー・ラドローゼが出演した唯一の映画作品で、サルデーニャの美しい村を背景に母の愛情を描いた傑作。

6 「聖なる夜に」 (1922年・日本未公開・サイレント・61分) A santantonio 監督/エルヴィラ・ノターリ 出演/ロゼ・アンジョーネ、アルベルト・インツァ 当時の同名の流行歌をもとに作られたサイレント期「ナポリ映画」の典型的な作品。二人の男に愛されたメイド、ナンニネッラの悲劇が描かれる。女性監督ノターリの情緒あふれる一篇。

10 「かしこまりました」 (1942年・日本未公開・90分) Sissignora 監督/フェルディナンド・M・ボッジョーリ 出演/マリア・デニス、レオナルド・コルテーズ、エンマ・グラマティカ 故郷からジェノヴァへ出てきた貧しい娘が、メイドとしてあちこちの家を転々とするが、最後に伝染病をうつされて病院の大部屋でカサノヴァを演じたガスマンの出せ作。2001年復元。

14 「神秘的騎士」 (1948年・日本未公開・95分) Il cavaliere misterioso 監督/ヴィットリオ・デ・シーカ 出演/ヴィットリオ・ガスマン、マリア・メルカデル 亡命生活を送っていたカサノヴァは兄弟を救うために危険を冒して帰郷し、無罪を証明して再び発つていく。初めての主演作品でカサノヴァを演じたガスマンの出せ作。2001年復元。

18 「春が来た」 (1950年・日本未公開・86分) E'primavera... 監督/レナート・カステラーニ 出演/マリオ・アンジェロッチ、エリナ・ヴァルツァ トスカーナ出身の若い兵士ベッパはシチリアで地元の娘と結婚するが、転属先のミラノでも別の女性を愛し、重婚罪で訴えられてしまう。その混乱の結末は…。"バラ色のネオリアリズム"の代表作。2000年復元。

22 「ミラノの奇蹟」 (1951年・96分) Miracolo a Milano 監督/ヴィットリオ・デ・シーカ 出演/フランチェスコ・コリサーノ、フルネッラ・ボウヴォ、エンマ・グラマティカ、バオロ・ストッパ 人のいい孤児は、町外れの広場にホームレスたちのユートピアを作ろうとするが…。リアリズムにファンタジーが加わった秀作。カンヌ映画祭グランプリ・審査員特別賞受賞。

24 「ウンベルトD」 (1952年・89分) Umberto D. 監督/ヴィットリオ・デ・シーカ 出演/カルロ・パッティステイ、マリア・ピア・カズリョ 年金生活を送る退職官吏の老人が、アパートの立ち退きを命じられて途方に暮れる。全員を素人が演じている。脚本のザヴァッティニ二のコンビが最も成功したといわれるデ・シーカの名作。

26 「こんなにも悪い女とは」 (1954年・日本未公開・96分) Peccato che sia una famiglia 監督/アレックス・ドロ・ブラゼッティ 原作/アルベルト・モラヴィア 出演/ヴィットリオ・デ・シーカ、ソフィア・ローレ、マルチエロ・マストロヤンニ 20歳のソフィア・ローレを演じる美人の泥棒と、彼女を更生させるために結婚を決意するローマのタクシードライバー(マストロヤンニ)を描いた喜劇。2001年復元。

28 「産」 (1955年・113分) Il bidone 監督/フェデリコ・フェリーニ 出演/ブローリア・クロフォード、リチャード・アヴスタ、ジュリエッタ・マシーナ 貧しい庶民から金を巻き上げる初老の詐欺師が、娘の学費を稼ぐと最後のヤマに賭けるが…。原題は俗語で「詐欺師」の意味。1955年のヴェネチア映画祭での公開と同じ完全版を上映。

30 「わらの男」 (1958年・108分) L'uomo di paglia 監督/ピエトロ・ジェルミ 出演/ミケレ・コッス、ルイーザ・デッラ・ノーチェ アンドレアとルイーザは10年余の仲の良い夫婦だが、妻が息子と旅に出た間に、アンドレアには若い恋人ができてしまう。「旅道具」で知られるジェルミの監督・主演作。

34 「ヘラクレスの復讐」 (1960年・87分) La vendetta di Ercole 監督/ヴィットリオ・コッタファロヴィ 出演/マーク・フレステ、ブロードリック・クロフォード スペクタクル史劇の巨匠コッタファロヴィが、隣国の王の侵略をはね返す英雄ヘラクレスの活躍を描いた傑作。かつて英語版が「豪勇ゴリアス」として日本公開された。ニュープリント。

38 「オルゴソロの盗賊」 (1961年・日本未公開・95分) Banditi a Orgosolo 監督/ヴィットリオ・デ・セタ 出演/ミケレ・コッス、オットー・クラウゼ 無実でありながら、家畜盗撃と憲兵殺害事件の犯人と疑われた羊飼いが盗賊になった様子を、サルデーニャ島の荒涼しい自然の中に描く。1961年ヴェネチア映画祭新人賞。2001年復元。

42 「贖女」 (1964年・日本未公開・94分) La donna scimmia 監督/マルコ・フェレリー 出演/ウゴ・トニャッティ、アニー・ジラウド 市で見せ物になる男が、全身が毛に覆われた女に出会い、彼女を使って狼のストリップ・ショーを思い立つ。当時イタリアでは短編版が公開されたが、今回は完全版ニュープリントを上映。

46 「続・夕陽のガンマン」 (1966年・174分・カラー) Il buono, il brutto, il cattivo 監督/セルジオ・レオーネ 出演/クリント・イーストウッド、イライ・ウォラック、ジャン・ヴァン・クリフ 南北戦争末期、200万ルの金をめぐる三人の流れる活躍を描いたマカロニ・ウェスタン名作。公開当時は英語版だったが、今回は日本で初めてイタリア語版を上映する。2000年復元。

50 「労働者階級は天国に入る」 (1974年・日本未公開・115分・カラー) La classe operaia va in paradiso 監督/エリオ・ペトリ 出演/ジャン・マリア・ヴォロンテ、マリアンジェラ・メラト 事故で指を失った人が変わった労働者ルルは、無期限ストを宣言して解雇される。妻にも見捨てられた彼は、再び雇用されたものの狂気を帯び始める。カンヌ映画祭グランプリ受賞。ニュープリント。



1 「ざれどわが愛は死なず」 (1913年・日本未公開・84分) Ma l'amor mio non muore! 監督/マリオ・カゼリニ 出演/リダ・ボレリ、マリオ・ボナール 自殺した軍人の娘で今は人気女優となった娘と大公国の皇太子の悲恋。イタリア映画の最初「ディーヴァ」、リダ・ボレリ主演のロドリガ・ミラのチネテカ・イタリアーナ所蔵プリントを上映。



4 「王家の虎」 (1916年・日本未公開・サイレント・77分) Tigre reale 監督/ジョヴァンニ・バストローネ 原作・脚本/ジョヴァンニ・ヴェルガ 出演/ピナ・メニケリ、アルベルト・ネボーティ、フェボ・マリ ありあるパーティーで大使のジョルジョは、美しいホルコンスキ伯爵夫人に恋をするが、彼女には悲しい過去があった。1993年にトリ映画博物館が復元した彩色版。



7 「いつでも君を愛す」 (1917年・日本未公開・73分) T'amerò sempre 監督/マリオ・カゼリニ 出演/エルサ・デ・ジョルジ、ニーノ・ベッソラ 若い貴族に誘惑されて棄てられた娘が、有名な美容院に勤め職を見つけて、そんな彼女に内気な会計士と恋をするが、突然かつての愛人が現れる…。43年にカゼリニ自身によってメイク。



11 「アルファ・タウ!」 (1918年・日本未公開・96分) Alfà Tau! 監督/フランチェスコ・デ・ロベルティス 出演/潜水艦エリコ・トローテ号の乗組員 海軍省の依頼で潜水艦に乗り込んだ水兵や士官の日々を、素人の俳優たちを使って描写した作品。ロッセリーニと共同監督の「白い船」と共に、戦争の悲惨さを示したネオリアリズムの先駆的傑作といわれる。2001年復元。



15 「トトのイタリア自転車レース」 (1948年・日本未公開・74分) Totò al giro d'Italia 監督/マリオ・マトーリ 出演/ト、イザ・バルツァ 美女アリアーナに恋したト教授は、自転車レースで優勝したら結婚してもいいと彼女に言われる。自転車若手トは、優勝するために悪魔に魂を売ってしまう。イタリア史上最も有名な喜劇役者トの代表作。1998年復元。



19 「神の道化師、フランチェスコ」 (1950年・85分) Francesco giullare di Dio 監督/ロベルト・ロッセリーニ 出演/ナザリョ・ヴェラリ、アルド・ファブリツィ 中世の聖フランチェスコと修道士たちの平和な共同生活を10のエピソードで描いた歴史物の名作。登場人物全員を実際の修道士が演じた。ニュープリント。

Grande retrospettiva del cinema italiano: dal muto agli anni 80

日本におけるイタリア年

イタリア映画大回顧

映画の神に嘉された天才監督たちの足跡を、

ニュープリントや最新復元版でたどる、イタリア映画史百年の総決算



2 「カビリア」 (1917年・サイレント・162分) Cahiria 監督/ジョヴァンニ・バストローネ 出演/レディ・アウラタ、バルトロメオ・バーガ、ウバルド・モツァート、イタリア・アルブラテ・マンジニ 紀元前3世紀のローマとカルタゴの戦いを背景としたスペクタクル史劇の超大作。グリフィスの「インセラス」にも影響を与えた。1995年にトリ映画博物館による復元版。



5-a 「妻たちとオレンジ」 (1917年・日本未公開・サイレント・60分) Le mogli e le arance 監督/ルイジ・セルヴェンティ 監督・脚本/ルーチョ・ダンブラ 出演/ヴィットリオ・デ・シーカ、アッシュ・リス ローマのヴェネチア街の新聞売りの貴族の世界にあらわれていたが、偶然貴族の御曹司と出会った妻を描いたルビッツィはりの喜劇。2001年オーストリア・フィルム・アーカイヴの協力で復元。



8 「ナポリのそよ風」 (1937年・86分) Il Signor Max 監督/マリオ・カゼリニ 出演/ヴィットリオ・デ・シーカ、アッシュ・リス ローマのヴェネチア街の新聞売りの貴族の世界にあらわれていたが、偶然貴族の御曹司と出会った妻を描いたルビッツィはりの喜劇。2001年オーストリア・フィルム・アーカイヴの協力で復元。



12 「マロンブラ」 (1942年・日本未公開・135分) Malombra 監督/マリオ・ソルダティ 出演/イザ・ミランダ、マッシモ・ケッキ 叔父に引き取られた、身寄りのない侯爵令嬢マリナ。その叔父は彼女に、結婚するまでコモ湖畔の豪華な別荘を出てはならぬと命じる。ロドリガの著しいカゼリニの秀作。ヴェネチア映画祭国民文化賞受賞。



16 「にがい米」 (1949年・109分) Riso amaro 監督/ジュゼッペ・デ・サンティス 出演/シルヴァーナ・マンガノ、ラファ・ヴァローネ、ヴィットリオ・ガスマン 北イタリアの水田地帯を舞台に、犯罪に巻き込まれる女性季節労働者の姿を描いたネオリアリズム映画の秀作。日本公開当時、主演女優マンガノの故つコトティシムが話題となった。1998-2000年復元。



20 「ある愛の記録」 (1950年・日本未公開・102分) Cronaca di un amore 監督/ミケランジェロ・アントニオーニ 出演/イザ・ボッセ、マッシモ・ケッキ ミラノの実業家の若く美しい妻が、かつての愛人により孕し、夫の殺害を計画する。アントニオーニは記念すべき長編デビュー作において現代のブルジョアの不条理な愛を描き、自らのスタイルを打ち立てた。

灼爛たる無声時代 —— バストローネ、ダンブラ

知られざる1930~40年代 —— カゼリニ、ブラゼッティ

ネオリアリズム神話 / 偉大な戦後 ——

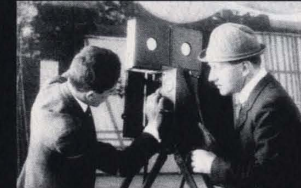
百花繚乱の1960年代 ——

個性の1970~80年代 —— スコーラ、ペーネ、ベッヴェヌーティ

- 日本公開された作品は、当時の題名を使用しています。
- 番組の1~6までは無声映画で、ピアノ伴奏が付き。これはフィルムセンターの恒例企画「シネマの冒険」と音楽「が」が「イタリア映画大回顧」の一部として組み込まれたものです。この無声映画上映に限り、定員は300名となります。ピアニストは、イタリアからアントニオ・コッポラ、ステファノ・マッケーニョの両氏を招聘する予定です。
- 上映作品のうちフィルムセンター所蔵の「ペリシマ」及び「シシリーの黒い霧」以外は、イタリアから来るプリントを上映予定です。特記した作品以外はチネテカ・ナチオナルのプリントです。イタリア側の都合で記載された作品が上映できない可能性があります。
- 記載した上映分は、当日のものど異なる場合があります。
- フィルムの状態や色彩、音声に不完全な場合があります。



3-a 「アッスンタ・スピーナ」 (1915年・サイレント・73分) Assunta Spina 監督/グスタヴォ・セレーナ 出演/フランチェスコ・ベルティニ、グスタヴォ・セレーナ、カロー・ベネッティ ナポリの若く美しい娘が、罪を犯した恋人のために自らを犠牲にする。悲劇を得意とするサイレント時代最高の人気女優、ベルティニの代表作。1993年にボローニャ市立チネテカが復元した彩色版。



5-b 「大女優チカラ・フォルミカ」 (1920年・日本未公開・サイレント・32分) L'illustratrice Cicada Formica 監督/ルチオ・ラッファ 出演/リナ・オルソ、ウバルド・モツァート、イザ・ミランダ 映画女優をめざす若い女性が映画に出演するまでで驚き喜劇。映画初期の雰囲気が伝わる貴重な一本。イタリア映画史研究協会の協力を得て、チネテカ・ナチオナルが彩色を行った版。



9 「サルヴァトーレ・ローザの冒険」 (1940年・日本未公開・92分) Un'avventura di Salvatore Rosa 監督/ルチオ・ラッファ 出演/ジーノ・カズリョ、リナ・モロリ 17世紀、スペイン支配下のナポリ王国を舞台に、画家にして剣客であるサルヴァトーレ・ローザの活躍を描いた歴史劇。カゼリニと並ぶ30年代の巨匠ブラゼッティの代表作。2001年復元。



13 「慈悲なき世界」 (1948年・日本未公開・90分) Senza Pietà 監督/アルベルト・ラットウアーダ 出演/リナ・デル・ポッジョ、ジョヴァンナ・ラッファ、ジュリエッタ・マシーナ 終戦直後のリヴォルノで、行方分からない弟を捜す姉アンジェラ。しかし彼女を待ち受けていたのはあまりにも非情な世の中だった。さまざまなジャンルで活躍したラットウアーダのネオリアリズム作品。2001年復元。



17 「沼の上の空」 (1949年・日本未公開・107分) Cielo sulla palude 監督/アリス・ジュニーナ 出演/イネス・オルソ、ジョヴァンナ・ラッファ、ジュリエッタ・マシーナ 中年の旅芸人が芸人志望の若い娘に恋を告白するが、彼女が母の反対で結婚を断る。イネス・オルソの代表作。2001年復元。



21 「客席の開光」 (1950年・日本未公開・98分) Luci del varietà 監督/アルベルト・ラットウアーダ、フェデリコ・フェリーニ 出演/ジャン・ヴァローネ、イザ・ボッセ、マッシモ・ケッキ、カロー・ベネッティ、ジュリエッタ・マシーナ 中年の旅芸人が芸人志望の若い娘に恋を告白するが、彼女が母の反対で結婚を断る。イネス・オルソの代表作。2001年復元。



23 「ペリシマ」 (1951年・113分) Bellissima 監督/ルキノ・ヴィスコンティ 出演/アンナ・マニーニ、ヴァルマ・キアアリ、チネテカ撮影所の子役を公幕することになり、気丈な母親は自分の子供を前に殺人者を許す…。1910年代から活躍したジュニーナ監督の戦後の代表作。ヴェネチア映画祭最優秀作品賞受賞。2001年復元。



25 「高校三年」 (1953年・103分) Terza Liceo 監督/ラファエル・エンメル 出演/イザ・ボッセ、マッシモ・ケッキ、カロー・ベネッティ、ジュリエッタ・マシーナ ローマの高校の学生たちの不安や悩み、家族や教師との関係、そして恋愛を描いた学園もの。アート・ドキュメンタリーの巨匠エンメルの若き日の作品で、日本で最も話題「アリカード」と共に大ヒットした。



27 「白い天使」 (1955年・日本未公開・98分) Angelo bianco 監督/ラファエル・エンメル、マタラッツォ 出演/アメデオ・ナツァーリ、ジョヴァンナ・ラッファ 愛する妻に先立たれたエンジニアが、列車で偶然妻とそっくりな女性に出会って結婚を断る。イネス・オルソの代表作。2000年復元。



29 「現代の英雄」 (1955年・日本未公開・89分) Un eroe dei nostri tempi 監督/ラファエル・エンメル 出演/アルベルト・ソルダティ、ジョヴァンナ・ラッファ ある陰謀の犠牲者とされたローマのサラマンの不安と苦悩を描いたコメディ。「イタリア喜劇」の名匠モニッチェリが喜劇役者アルベルト・ソルダティを起用した代表作。1999年復元。



33 「イタリア万歳」 (1960年・日本未公開・129分・カラー) Viva l'Italia 監督/アルベルト・ソルダティ 出演/ブロードリック・クロフォード、リチャード・アヴスタ、ジュリエッタ・マシーナ 19世紀、イタリア統一戦争の英雄ガリバルディとイタリアナ、工員のジョヴァンニを描いた歴史ドラマ。ロッセリーニが歴史人物を起用した重要な作品。2001年復元。



37 「鞆を持った女」 (1961年・121分) La ragazza con la valigia 監督/マリノ・モニッチェリ 出演/クラウディア・カルディナーレ、アンナ・マニーニ、ジュリエッタ・マシーナ 兄に棄てられたアイダに心を寄せた弟ロレンツォ。互いに愛し合いながらロレンツォのために別離を決意するアイダ。イタリアの「ヌーヴェル・ヴァーク」の作品。ニュープリント。



41 「婚約者たち」 (1961年・日本未公開・76分) I fidanzati 監督/アルベルト・ソルダティ 出演/クラウディア・カルディナーレ、アンナ・マニーニ、ジュリエッタ・マシーナ 徳意戦争を迎え婚約者のカップル、ジョヴァンニとイタリアナ、工員のジョヴァンニは、ブラからイタリアへの転勤をきっかけにイタリアナへの愛を再確認する。個人の繊細な感情を表現するオスミのタッチが発揮された作品。2000年復元。



45 「彼女のことはよく知っていた」 (1968年・日本未公開・115分) Io la conosco bene 監督/ステファニア・サランドリ、ニーノ・マッフレディ、ウゴ・トニャッティ、ジャン・ワグネル、ブリアン 前衛的な舞台演劇家にして俳優であるカルヴェーニの第1回作品で、キリスト最後の日にユダの裏切りを無駄のない手法で静かに描いた作品。



49 「トルコ人たちのマドンナ」 (1968年・日本未公開・125分・カラー) Nostra Signora dei Turchi 監督/カルメロ・ペーネ 出演/カルメロ・ペーネ、リディア・マンチネリ 前衛的な舞台演劇家にして俳優であるカルヴェーニの第1回作品で、キリスト最後の日にユダの裏切りを無駄のない手法で静かに描いた作品。



53 「ユダの接吻」 (1968年・日本未公開・88分・カラー) Il bacio di Giuda 監督/パオロ・ペンゾヴェーニ 出演/クラウディア・カルディナーレ、ジャン・ワグネル、ブリアン 前衛的な舞台演劇家にして俳優であるカルヴェーニの第1回作品で、キリスト最後の日にユダの裏切りを無駄のない手法で静かに描いた作品。